

1. 路線の概要			
市町名		路線名	
鯖江市		循環線	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
JR鯖江駅 神明駅	市役所	JR鯖江駅 神明駅	10.85
運賃体系		1回乗車あたり100円(小学生以下および障がいのある方は人等は無料)	

2. 当該路線に係る指標				
年度	H29	H30	R1	R2
年間運行回数 (回) (a)	4,656	5,912	5,891	5,912
年間利用者数 (人) (b)	33,988	42,815	43,073	32,995
平均利用者数 (人) (b/a)	7.3	7.2	7.3	5.6
国庫補助額 (千円)	1,932	2,897	4,348	4,752
市町補助額 (委託額) (千円)	12,471	15,666	15,492	17,568

3. 当該路線の必要性	
①並行鉄道・バス路線の有無	福井鉄道福武線 JR北陸本線
②利用の状況	神明駅・公立丹南病院・市役所・西山公園・JR鯖江駅など、市内の主要起点を周回する路線であり、つつじバス利用者全体の約30%を当該路線が占める。
③当該路線の必要性	市街地中央部に集積する生活関連施設を循環することによって、現在の施設立地状況に対応した機能強化、幹線や支線との乗継の確保による利便性の高いサービスを提供する必要がある。

4. 接続する広域路線		
路線名	運行事業者	接続停留所
鯖浦線	福鉄バス	神明駅

5. 生産性向上に関する取組み	
R2年度に実施した取組みおよびその結果・効果	本市のコミュニティバスは平成29年4月から大きくダイヤ見直し等を行ってきたが、それ以降は定着を図る目的でほぼダイヤを据え置いて運行してきたところである。 広報については、各地区の高齢者サロンに出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を実施し、利用促進に努めたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、当初予定していた講座数を行うことは出来なかった。開催した講座では要望を聞き出す時間を設けることで、各地区の問題点の収集に努めた。(当初予定数：10回、実績：2回) また、Google map を使用して経路検索を行えることを市のHPを活用し、周知をした。
今後の取組みの予定、目標	令和3年度末までを計画期間とする鯖江市地域公共交通再編実施計画の終了を見据え、市民生活の日常の移動手段の確保にシフトした路線の再編やダイヤ改正を、これまでの利用実績の研究や地域の意見を参考にした上で、実施していく。 また、引き続き利用者の大多数を占める高齢者に焦点を絞り、各地区の高齢者サロンに出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を開催し、新規の利用者の獲得を目指す。その他、約10年前に導入を行った「※バスどこサービス」について、改めて市のHP等を利用していただくように努める。 ※鯖江市つつじバスが現在どこを走っているかがリアルタイムで分かるようになっているもの。GTFSを活用しGoogle mapを使った現在走行位置の把握が可能。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
鯖江市		幹線	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
神明駅	JR鯖江駅	ラポーゼかわだ	52.5
運賃体系		1回乗車あたり100円(小学生以下および障がいのある方は人等は無料)	

2. 当該路線に係る指標

年度	H29	H30	R1	R2
年間運行回数(回) (a)	1,038	1,080	1,083	1,080
年間利用者数(人) (b)	12,935	10,109	10,844	7,366
平均利用者数(人) (b/a)	12.5	9.4	10.0	6.8
国庫補助額(千円)	3,004	5,533	5,703	5,991
市町補助額(委託額)(千円)	16,557	13,964	14,027	15,923

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	福井鉄道福武線 JR北陸本線
②利用の状況	鯖江市の東西移動を網羅する路線であり、つつじバス利用者全体の約8%を当該路線が占める。
③当該路線の必要性	つつじバスのターミナルであるJR鯖江駅、福井鉄道神明駅に、JR北鯖江駅、禰陽会館を加えた4つの主要乗継拠点、地区乗継拠点(公民館等)、公立丹南病院、産業観光施設等を乗継なしで連絡することによって、市内移動の利便性向上、日常生活交通への対応および隣接都市を結ぶ広域観光の強化を図る必要がある。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
鯖浦線	福鉄バス	神明駅

5. 生産性向上に関する取組み

R2年度に実施した取組みおよびその結果・効果	本市のコミュニティバスは平成29年4月から大きくダイヤ見直し等を行ってきたが、それ以降は定着を図る目的でほぼダイヤを据え置いて運行してきたところである。 広報については、各地区の高齢者サロンに出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を実施し、利用促進に努めたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、当初予定していた講座数を行うことは出来なかった。開催した講座では要望を聞き出す時間を設けることで、各地区の問題点の収集に努めた。(当初予定数：10回、実績：2回) また、Google map を使用して経路検索を行えることを市のHPを活用し、周知をした。
今後の取組みの予定、目標	令和3年度末までを計画期間とする鯖江市地域公共交通再編実施計画の終了を見据え、市民生活の日常の移動手段の確保にシフトした路線の再編やダイヤ改正を、これまでの利用実績の研究や地域の意見を参考にした上で、実施していく。 また、引き続き利用者の大多数を占める高齢者に焦点を絞り、各地区の高齢者サロンに出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を開催し、新規の利用者の獲得を目指す。その他、約10年前に導入を行った「※バスどこサービス」について、改めて市のHP等を利用していただくように努める。 ※鯖江市つつじバスが現在どこを走っているかがリアルタイムで分かるようになっているもの。 GTFSを活用しGoogle mapを使った現在走行位置の把握が可能。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要			
市町名		路線名	
鯖江市		鯖江南・新横江線	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
嚮陽会館	JR鯖江駅	嚮陽会館	13.4
運賃体系		1回乗車あたり100円(小学生以下および障がいのある方は人等は無料)	

2. 当該路線に係る指標				
年度	H29	H30	R1	R2
年間運行回数(回) (a)	1,164	1,325	1,328	1,324
年間利用者数(人) (b)	3,361	4,078	3,820	1,784
平均利用者数(人) (b/a)	2.9	3.1	2.9	1.3
国庫補助額(千円)	0	0	0	0
市町補助額(委託額)(千円)	4,171	4,464	4,485	5,154

3. 当該路線の必要性	
①並行鉄道・バス路線の有無	福井鉄道福武線 JR北陸本線
②利用の状況	鯖江市の新横江地区を網羅する路線であり、つつじバス利用者全体の約2%を当該路線が占める。
③当該路線の必要性	市内南部において、地区内の集落を巡回し、主要乗継拠点であるJR鯖江駅、嚮陽会館を連絡することによって、より身近なところにバス停を設けるなどきめ細かい対応によって公共交通による人口カバー率向上を目指し、誰もがどこへでも歩いて行ける交通環境を実現する必要がある。

4. 接続する広域路線		
路線名	運行事業者	接続停留所

5. 生産性向上に関する取組み	
R2年度に実施した取組みおよびその結果・効果	本市のコミュニティバスは平成29年4月から大きくダイヤ見直し等を行ってきたが、それ以降は定着を図る目的でほぼダイヤを据え置いて運行してきたところである。 広報については、各地区の高齢者サロンに出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を実施し、利用促進に努めたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、当初予定していた講座数を行うことは出来なかった。開催した講座では要望を聞き出す時間を設けることで、各地区の問題点の収集に努めた。(当初予定数：10回、実績：2回) また、Google map を使用して経路検索を行えることを市のHPを活用し、周知をした。
今後の取組みの予定、目標	令和3年度末までを計画期間とする鯖江市地域公共交通再編実施計画の終了を見据え、市民生活の日常の移動手段の確保にシフトした路線の再編やダイヤ改正を、これまでの利用実績の研究や地域の意見を参考にした上で、実施していく。 また、引き続き利用者の大多数を占める高齢者に焦点を絞り、各地区の高齢者サロンに出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を開催し、新規の利用者の獲得を目指す。その他、約10年前に導入を行った「※バスどこサービス」について、改めて市のHP等を利用させていただくように努める。 ※鯖江市つつじバスが現在どこを走っているかがリアルタイムで分かるようになっているもの。 GTFSを活用しGoogle mapを使った現在走行位置の把握が可能。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
鯖江市		神明線	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
公立丹南病院	JR北鯖江駅西口	公立丹南病院	12.85
運賃体系		1回乗車あたり100円(小学生以下および障がいのある方は人等は無料)	

2. 当該路線に係る指標

年度	H29	H30	R1	R2
年間運行回数(回) (a)	1,400	1,568	1,563	1,568
年間利用者数(人) (b)	6,512	7,960	7,655	5,980
平均利用者数(人) (b/a)	4.7	5.1	4.9	3.8
国庫補助額(千円)	812	1,148	2,009	1,780
市町補助額(委託額)(千円)	4,549	4,800	4,745	5,371

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	福井鉄道福武線 JR北陸本線
②利用の状況	鯖江市の神明地区を網羅する路線であり、つつじバス利用者全体の約6%を当該路線が占める。
③当該路線の必要性	神明地区において、地区内の集落を巡回し、主要乗継拠点である福井鉄道神明駅、JR北鯖江駅を連絡することによって、より身近なところにバス停を設けるなどきめ細かい対応によって公共交通による人口カバー率向上を目指し、誰もがどこへでも歩いて行ける交通環境を実現する必要がある。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
鯖浦線	福鉄バス	神明駅・JR北鯖江駅

5. 生産性向上に関する取組み

R2年度に実施した取組みおよびその結果・効果	本市のコミュニティバスは平成29年4月から大きくダイヤ見直し等を行ってきたが、それ以降は定着を図る目的でほぼダイヤを据え置いて運行してきたところである。広報については、各地区の高齢者サロンに出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を実施し、利用促進に努めたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、当初予定していた講座数を行うことは出来なかった。開催した講座では要望を聞き出す時間を設けることで、各地区の問題点の収集に努めた。(当初予定数：10回、実績：2回) また、Google map を使用して経路検索を行えることを市のHPを活用し、周知をした。
今後の取組みの予定、目標	令和3年度末までを計画期間とする鯖江市地域公共交通再編実施計画の終了を見据え、市民生活の日常の移動手段の確保にシフトした路線の再編やダイヤ改正を、これまでの利用実績の研究や地域の意見を参考にした上で、実施していく。 また、引き続き利用者の大多数を占める高齢者に焦点を絞り、各地区の高齢者サロンに出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を開催し、新規の利用者の獲得を目指す。その他、約10年前に導入を行った「※バスどこサービス」について、改めて市のHP等を利用していただくように努める。 ※鯖江市つつじバスが現在どこを走っているかがリアルタイムで分かるようになっているもの。GTFSを活用しGoogle mapを使った現在走行位置の把握が可能。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
鯖江市		片上・北中山線	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
公立丹南病院	神明駅・高年大学	公立丹南病院	24.7
運賃体系		1回乗車あたり100円(小学生以下および障がいのある方は人等は無料)	

2. 当該路線に係る指標

年度	H29	H30	R1	R2
年間運行回数(回) (a)	1,475	1,642	2,049	2,300
年間利用者数(人) (b)	8,047	8,113	8,035	6,059
平均利用者数(人) (b/a)	5.5	4.9	3.9	2.6
国庫補助額(千円)	1,534	2,264	3,979	3,516
市町補助額(委託額)(千円)	8,710	9,476	10,015	11,341

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	福井鉄道福武線 JR北陸本線
②利用の状況	鯖江市の片上・北中山地区を網羅する路線であり、つつじバス利用者全体の約6%を当該路線が占める。
③当該路線の必要性	片上地区、北中山地区において、地区内の集落を巡回し、主要乗継拠点であるJR北鯖江駅や福井鉄道神明駅、地区乗継拠点である北中山公民館、中河公民館を連絡することによって、より身近なところにバス停を設けるなどきめ細かい対応によって公共交通による人口カバー率向上を目指し、誰もがどこへでも歩いて行ける交通環境を実現する必要がある。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
鯖浦線	福鉄バス	神明駅・JR北鯖江駅

5. 生産性向上に関する取組み

R2年度に実施した取組みおよびその結果・効果	本市のコミュニティバスは平成29年4月から大きくダイヤ見直し等を行ってきたが、それ以降は定着を図る目的でほぼダイヤを据え置いて運行してきたところである。広報については、各地区の高齢者サロンに出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を実施し、利用促進に努めたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、当初予定していた講座数を行うことは出来なかった。開催した講座では要望を聞き出す時間を設けることで、各地区の問題点の収集に努めた。(当初予定数：10回、実績：2回) また、Google map を使用して経路検索を行えることを市のHPを活用し、周知をした。
今後の取組みの予定、目標	令和3年度末までを計画期間とする鯖江市地域公共交通再編実施計画の終了を見据え、市民生活の日常の移動手段の確保にシフトした路線の再編やダイヤ改正を、これまでの利用実績の研究や地域の意見を参考にした上で、実施していく。 また、引き続き利用者の大多数を占める高齢者に焦点を絞り、各地区の高齢者サロンに出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を開催し、新規の利用者の獲得を目指す。その他、約10年前に導入を行った「※バスどこサービス」について、改めて市のHP等を利用させていただくように努める。 ※鯖江市つつじバスが現在どこを走っているかがリアルタイムで分かるようになっているもの。GTFSを活用しGoogle mapを使った現在走行位置の把握が可能。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
鯖江市		立待線	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
神明駅	公立丹南病院	神明苑	12.55
運賃体系		1回乗車あたり100円(小学生以下および障がいのある方は人等は無料)	

2. 当該路線に係る指標

年度	H29	H30	R1	R2
年間運行回数(回) (a)	1,400	1,568	1,563	1,568
年間利用者数(人) (b)	9,594	8,266	8,315	6,065
平均利用者数(人) (b/a)	6.9	5.3	5.3	3.9
国庫補助額(千円)	0	0	0	0
市町補助額(委託額)(千円)	4,321	4,625	4,578	5,180

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	福井鉄道福武線
②利用の状況	鯖江市の立待地区を網羅する路線であり、つつじバス利用者全体の約6%を当該路線が占める。
③当該路線の必要性	立待地区において、地区内の集落を巡回し、主要乗継拠点である福井鉄道神明駅や地区乗継拠点である立待公民館を連絡することによって、より身近なところにバス停を設けるなどきめ細かい対応によって公共交通による人口カバー率向上を目指し、誰もがどこへでも歩いて行ける交通環境を実現する必要がある。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
鯖浦線	福鉄バス	神明駅

5. 生産性向上に関する取組み

R2年度に実施した取組みおよびその結果・効果	本市のコミュニティバスは平成29年4月から大きくダイヤ見直し等を行ってきたが、それ以降は定着を図る目的でほぼダイヤを据え置いて運行してきたところである。広報については、各地区の高齢者サロンに出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を実施し、利用促進に努めたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、当初予定していた講座数を行うことは出来なかった。開催した講座では要望を聞き出す時間を設けることで、各地区の問題点の収集に努めた。(当初予定数：10回、実績：2回) また、Google map を使用して経路検索を行えることを市のHPを活用し、周知をした。
今後の取組みの予定、目標	令和3年度末までを計画期間とする鯖江市地域公共交通再編実施計画の終了を見据え、市民生活の日常の移動手段の確保にシフトした路線の再編やダイヤ改正を、これまでの利用実績の研究や地域の意見を参考にした上で、実施していく。 また、引き続き利用者の大多数を占める高齢者に焦点を絞り、各地区の高齢者サロンに出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を開催し、新規の利用者の獲得を目指す。その他、約10年前に導入を行った「※バスどこサービス」について、改めて市のHP等を利用していただくように努める。 ※鯖江市つつじバスが現在どこを走っているかがリアルタイムで分かるようになっているもの。GTFSを活用しGoogle mapを使った現在走行位置の把握が可能。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
鯖江市		吉川線	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
神明苑	公立丹南病院	神明苑	15.4
運賃体系		1回乗車あたり100円(小学生以下および障がいのある方は人等は無料)	

2. 当該路線に係る指標

年度	H29	H30	R1	R2
年間運行回数(回) (a)	1,636	1,812	1,803	1,812
年間利用者数(人) (b)	11,357	11,269	11,024	8,693
平均利用者数(人) (b/a)	6.9	6.2	6.1	4.8
国庫補助額(千円)	0	0	0	0
市町補助額(委託額)(千円)	6,163	6,639	6,684	7,520

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	福井鉄道福武線
②利用の状況	鯖江市の吉川地区を網羅する路線であり、つつじバス利用者全体の約8%を当該路線が占める。
③当該路線の必要性	吉川地区において、地区内の集落を巡回し、主要乗継拠点である福井鉄道神明駅、地区乗継拠点である吉川公民館を連絡することによって、より身近なところにバス停を設けるなどきめ細かい対応によって公共交通による人口カバー率向上を目指し、誰もがどこへでも歩いて行ける交通環境を実現する必要がある。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
鯖浦線	福鉄バス	神明駅

5. 生産性向上に関する取組み

R2年度に実施した取組みおよびその結果・効果	本市のコミュニティバスは平成29年4月から大きくダイヤ見直し等を行ってきたが、それ以降は定着を図る目的でほぼダイヤを据え置いて運行してきたところである。広報については、各地区の高齢者サロンに出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を実施し、利用促進に努めたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、当初予定していた講座数を行うことは出来なかった。開催した講座では要望を聞き出す時間を設けることで、各地区の問題点の収集に努めた。(当初予定数：10回、実績：2回) また、Google map を使用して経路検索を行えることを市のHPを活用し、周知をした。
今後の取組みの予定、目標	令和3年度末までを計画期間とする鯖江市地域公共交通再編実施計画の終了を見据え、市民生活の日常の移動手段の確保にシフトした路線の再編やダイヤ改正を、これまでの利用実績の研究や地域の意見を参考にした上で、実施していく。 また、引き続き利用者の大多数を占める高齢者に焦点を絞り、各地区の高齢者サロンに出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を開催し、新規の利用者の獲得を目指す。その他、約10年前に導入を行った「※バスどこサービス」について、改めて市のHP等を利用させていただくように努める。 ※鯖江市つつじバスが現在どこを走っているかがリアルタイムで分かるようになっているもの。GTFSを活用しGoogle mapを使った現在走行位置の把握が可能。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
鯖江市		豊線	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
JR鯖江駅	嚮陽会館	JR鯖江駅	16.75
運賃体系		1回乗車あたり100円(小学生以下および障がいのある方は人等は無料)	

2. 当該路線に係る指標

年度	H29	H30	R1	R2
年間運行回数(回) (a)	1,400	1,568	1,563	1,568
年間利用者数(人) (b)	10,647	10,685	8,317	6,642
平均利用者数(人) (b/a)	7.6	6.8	5.3	4.2
国庫補助額(千円)	0	0	0	0
市町補助額(委託額)(千円)	6,625	7,372	7,307	8,256

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	福井鉄道福武線 JR北陸本線
②利用の状況	鯖江市の豊地区を網羅する路線であり、つつじバス利用者全体の約7%を当該路線が占める。
③当該路線の必要性	豊地区において、地区内の集落を巡回し、主要乗継拠点であるJR鯖江駅や嚮陽会館、地区乗継拠点である豊公民館を連絡することによって、より身近なところにバス停を設けるなどきめ細かい対応によって公共交通による人口カバー率向上を目指し、誰もがどこへでも歩いて行ける交通環境を実現する必要がある。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所

5. 生産性向上に関する取組み

R2年度に実施した取組みおよびその結果・効果	本市のコミュニティバスは平成29年4月から大きくダイヤ見直し等を行ってきたが、それ以降は定着を図る目的でほぼダイヤを据え置いて運行してきたところである。広報については、各地区の高齢者サロンに出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を実施し、利用促進に努めたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、当初予定していた講座数を行うことは出来なかった。開催した講座では要望を聞き出す時間を設けることで、各地区の問題点の収集に努めた。(当初予定数：10回、実績：2回) また、Google map を使用して経路検索を行えることを市のHPを活用し、周知をした。
今後の取組みの予定、目標	令和3年度末までを計画期間とする鯖江市地域公共交通再編実施計画の終了を見据え、市民生活の日常の移動手段の確保にシフトした路線の再編やダイヤ改正を、これまでの利用実績の研究や地域の意見を参考にした上で、実施していく。 また、引き続き利用者の大多数を占める高齢者に焦点を絞り、各地区の高齢者サロンに出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を開催し、新規の利用者の獲得を目指す。その他、約10年前に導入を行った「※バスどこサービス」について、改めて市のHP等を利用していただくように努める。 ※鯖江市つつじバスが現在どこを走っているかがリアルタイムで分かるようになっているもの。GTFSを活用しGoogle mapを使った現在走行位置の把握が可能。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要			
市町名		路線名	
鯖江市		中河・北中山線	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
禰陽会館	JR鯖江駅・高年大学	上戸口北	15.9
運賃体系		1回乗車あたり100円(小学生以下および障がいのある方は人等は無料)	

2. 当該路線に係る指標				
年度	H29	H30	R1	R2
年間運行回数 (回) (a)	1,400	1,568	1,563	2,776
年間利用者数 (人) (b)	5,342	6,113	5,270	3,428
平均利用者数 (人) (b/a)	3.8	3.9	3.4	1.2
国庫補助額 (千円)	1,129	2,369	0	0
市町補助額 (委託額) (千円)	9,087	9,273	10,261	11,566

3. 当該路線の必要性	
①並行鉄道・バス路線の有無	福井鉄道福武線 JR北陸本線
②利用の状況	鯖江市の中河・北中山地区を網羅する路線であり、つつじバス利用者全体の約4%を当該路線が占める。
③当該路線の必要性	中河地区、北中山地区において、地区内の集落を巡回し、主要乗継拠点であるJR鯖江駅や禰陽会館、地区乗継拠点である中河小学校前、北中山公民館を連絡することによって、より身近なところにバス停を設けるなどきめ細かい対応によって公共交通による人口カバー率向上を目指し、誰もがどこへでも歩いて行ける交通環境を実現する必要がある。

4. 接続する広域路線		
路線名	運行事業者	接続停留所

5. 生産性向上に関する取組み	
R2年度に実施した取組みおよびその結果・効果	本市のコミュニティバスは平成29年4月から大きくダイヤ見直し等を行ってきたが、それ以降は定着を図る目的でほぼダイヤを据え置いて運行してきたところである。広報については、各地区の高齢者サロンに出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を実施し、利用促進に努めたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、当初予定していた講座数を行うことは出来なかった。開催した講座では要望を聞き出す時間を設けることで、各地区の問題点の収集に努めた。(当初予定数：10回、実績：2回) また、Google map を使用して経路検索を行えることを市のHPを活用し、周知をした。
今後の取組みの予定、目標	令和3年度末までを計画期間とする鯖江市地域公共交通再編実施計画の終了を見据え、市民生活の日常の移動手段の確保にシフトした路線の再編やダイヤ改正を、これまでの利用実績の研究や地域の意見を参考にした上で、実施していく。 また、引き続き利用者の大多数を占める高齢者に焦点を絞り、各地区の高齢者サロンに出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を開催し、新規の利用者の獲得を目指す。その他、約10年前に導入を行った「※バスどこサービス」について、改めて市のHP等を利用させていただくように努める。 ※鯖江市つつじバスが現在どこを走っているかがリアルタイムで分かるようになっているもの。GTFSを活用しGoogle mapを使った現在走行位置の把握が可能。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
鯖江市		河和田線	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
禰陽会館	JR鯖江駅・高年大学	鈺泉前	19.85
運賃体系		1回乗車あたり100円(小学生以下および障がいのある方は人等は無料)	

2. 当該路線に係る指標

年度	H29	H30	R1	R2
年間運行回数(回) (a)	1,717	1,886	2,043	3,264
年間利用者数(人) (b)	25,348	25,130	23,216	16,464
平均利用者数(人) (b/a)	14.8	13.3	11.4	5.0
国庫補助額(千円)	0	0	0	0
市町補助額(委託額)(千円)	13,853	14,120	14,606	16,893

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	福井鉄道福武線 JR北陸本線
②利用の状況	鯖江市の河和田地区を網羅する路線であり、つつじバス利用者全体の約17%を当該路線が占める。
③当該路線の必要性	河和田地区、北中山地区において、地区内の集落を巡回し、主要乗継拠点であるJR鯖江駅や禰陽会館、地区乗継拠点である河和田公民館、北中山公民館を連絡することによって、より身近なところにバス停を設けるなどきめ細かい対応によって公共交通による人口カバー率向上を目指し、誰もがどこへでも歩いて行ける交通環境を実現する必要がある。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所

5. 生産性向上に関する取組み

R2年度に実施した取組みおよびその結果・効果	本市のコミュニティバスは平成29年4月から大きくダイヤ見直し等を行ってきたが、それ以降は定着を図る目的でほぼダイヤを据え置いて運行してきたところである。 広報については、各地区の高齢者サロンに出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を実施し、利用促進に努めたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、当初予定していた講座数を行うことは出来なかった。開催した講座では要望を聞き出す時間を設けることで、各地区の問題点の収集に努めた。(当初予定数：10回、実績：2回) また、Google map を使用して経路検索を行えることを市のHPを活用し、周知をした。
今後の取組みの予定、目標	令和3年度末までを計画期間とする鯖江市地域公共交通再編実施計画の終了を見据え、市民生活の日常の移動手段の確保にシフトした路線の再編やダイヤ改正を、これまでの利用実績の研究や地域の意見を参考にした上で、実施していく。 また、引き続き利用者の大多数を占める高齢者に焦点を絞り、各地区の高齢者サロンに出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を開催し、新規の利用者の獲得を目指す。その他、約10年前に導入を行った「※バスどこサービス」について、改めて市のHP等を利用していただくように努める。 ※鯖江市つつじバスが現在どこを走っているかがリアルタイムで分かるようになっているもの。 GTFSを活用しGoogle mapを使った現在走行位置の把握が可能。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
鯖江市		通学便 市内高校ルート	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
JR鯖江駅	丹南高校	福井高専	5.6
運賃体系		1回乗車あたり100円(小学生以下および障がいのある方は人等は無料)	

2. 当該路線に係る指標

年度	H29	H30	R1	R2
年間運行回数(回) (a)	576	597	597	426
年間利用者数(人) (b)	6,824	6,823	5,372	3,163
平均利用者数(人) (b/a)	11.8	11.4	9.0	7.4
国庫補助額(千円)	0	0	0	0
市町補助額(委託額)(千円)	584	609	611	541

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	福井鉄道福武線 JR北陸本線
②利用の状況	市内の丹南高校や福井高専などを通る路線であり、学生の通学利用が多く、つつじバス利用者全体の約3%を当該路線が占める。
③当該路線の必要性	朝夕の通学時間帯に主要鉄道駅であるJR鯖江駅、福井鉄道西鯖江駅と丹南高校、福井高専を連絡することによって、通学の利便性を改善する必要がある。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所

5. 生産性向上に関する取組み

R2年度に実施した取組みおよびその結果・効果	本市のコミュニティバスは平成29年4月から大きくダイヤ見直し等を行ってきたが、それ以降は定着を図る目的でほぼダイヤを据え置いて運行してきたところである。広報については、各地区の高齢者サロンに出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を実施し、利用促進に努めたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、当初予定していた講座数を行うことは出来なかった。開催した講座では要望を聞き出す時間を設けることで、各地区の問題点の収集に努めた。(当初予定数：10回、実績：2回) また、Google map を使用して経路検索を行えることを市のHPを活用し、周知をした。
今後の取組みの予定、目標	令和3年度末までを計画期間とする鯖江市地域公共交通再編実施計画の終了を見据え、市民生活の日常の移動手段の確保にシフトした路線の再編やダイヤ改正を、これまでの利用実績の研究や地域の意見を参考にした上で、実施していく。 また、引き続き利用者の大多数を占める高齢者に焦点を絞り、各地区の高齢者サロンに出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を開催し、新規の利用者の獲得を目指す。その他、約10年前に導入を行った「※バスどこサービス」について、改めて市のHP等を利用させていただくように努める。 ※鯖江市つつじバスが現在どこを走っているかがリアルタイムで分かるようになっているもの。GTFSを活用しGoogle mapを使った現在走行位置の把握が可能。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
鯖江市		通学便 片上・北中山ルート	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
北中山公民館	JR鯖江駅東口	神明駅	13.4
運賃体系		1回乗車あたり100円(小学生以下および障がいのある方は人等は無料)	

2. 当該路線に係る指標

年度	H29	H30	R1	R2
年間運行回数(回) (a)	384	102	102	98
年間利用者数(人) (b)	481	144	42	51
平均利用者数(人) (b/a)	1.3	1.4	0.4	0.5
国庫補助額(千円)	0	0	0	0
市町補助額(委託額)(千円)	1,475	331	329	356

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	福井鉄道福武線 JR北陸本線
②利用の状況	冬季期間(12月～2月)のみの運行となっており、主に片上・北中山地区の通勤・通学の足として利用されている。
③当該路線の必要性	朝夕の通学時間帯に主要鉄道駅であるJR北鯖江駅、福井鉄道神明駅と各地区主要箇所を連絡することによって、通学の利便性を改善する必要がある。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
鯖浦線	福鉄バス	神明駅

5. 生産性向上に関する取組み

R2年度に実施した取組みおよびその結果・効果	本市のコミュニティバスは平成29年4月から大きくダイヤ見直し等を行ってきたが、それ以降は定着を図る目的でほぼダイヤを据え置いて運行してきたところである。広報については、各地区の高齢者サロンに出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を実施し、利用促進に努めたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、当初予定していた講座数を行うことは出来なかった。開催した講座では要望を聞き出す時間を設けることで、各地区の問題点の収集に努めた。(当初予定数：10回、実績：2回) また、Google map を使用して経路検索を行えることを市のHPを活用し、周知をした。
今後の取組みの予定、目標	令和3年度末までを計画期間とする鯖江市地域公共交通再編実施計画の終了を見据え、市民生活の日常の移動手段の確保にシフトした路線の再編やダイヤ改正を、これまでの利用実績の研究や地域の意見を参考にした上で、実施していく。 また、引き続き利用者の大多数を占める高齢者に焦点を絞り、各地区の高齢者サロンに出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を開催し、新規の利用者の獲得を目指す。その他、約10年前に導入を行った「※バスどこサービス」について、改めて市のHP等を利用させていただくように努める。 ※鯖江市つつじバスが現在どこを走っているかがリアルタイムで分かるようになっているもの。GTFSを活用しGoogle mapを使った現在走行位置の把握が可能。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要			
市町名		路線名	
鯖江市		通学便 立待ルート	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
石田中	立待公民館	神明駅	8.9
運賃体系		1回乗車あたり100円(小学生以下および障がいのある方は人等は無料)	

2. 当該路線に係る指標				
年度	H29	H30	R1	R2
年間運行回数(回) (a)	384	102	102	98
年間利用者数(人) (b)	605	308	260	307
平均利用者数(人) (b/a)	1.6	3.0	2.5	3.1
国庫補助額(千円)	138	110	0	0
市町補助額(委託額)(千円)	864	220	218	237

3. 当該路線の必要性	
①並行鉄道・バス路線の有無	福井鉄道福武線
②利用の状況	冬季期間(12月～2月)のみの運行となっており、主に立待地区の通勤・通学の足として利用されている。
③当該路線の必要性	朝夕の通学時間帯に主要鉄道駅である福井鉄道神明駅と各地区主要箇所を連絡することによって、通学の利便性を改善する必要がある。

4. 接続する広域路線		
路線名	運行事業者	接続停留所
鯖浦線	福鉄バス	神明駅

5. 生産性向上に関する取組み	
R2年度に実施した取組みおよびその結果・効果	本市のコミュニティバスは平成29年4月から大きくダイヤ見直し等を行ってきたが、それ以降は定着を図る目的でほぼダイヤを据え置いて運行してきたところである。広報については、各地区の高齢者サロンに出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を実施し、利用促進に努めたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、当初予定していた講座数を行うことは出来なかった。開催した講座では要望を聞き出す時間を設けることで、各地区の問題点の収集に努めた。(当初予定数：10回、実績：2回) また、Google map を使用して経路検索を行えることを市のHPを活用し、周知をした。
今後の取組みの予定、目標	令和3年度末までを計画期間とする鯖江市地域公共交通再編実施計画の終了を見据え、市民生活の日常の移動手段の確保にシフトした路線の再編やダイヤ改正を、これまでの利用実績の研究や地域の意見を参考にした上で、実施していく。 また、引き続き利用者の大多数を占める高齢者に焦点を絞り、各地区の高齢者サロンに出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を開催し、新規の利用者の獲得を目指す。その他、約10年前に導入を行った「※バスどこサービス」について、改めて市のHP等を利用していただくように努める。 ※鯖江市つつじバスが現在どこを走っているかがリアルタイムで分かるようになっているもの。GTFSを活用しGoogle mapを使った現在走行位置の把握が可能。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
鯖江市		通学便 吉川ルート	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
石田中	吉川公民館	神明駅	10.45
運賃体系		1回乗車あたり100円(小学生以下および障がいのある方は人等は無料)	

2. 当該路線に係る指標

年度	H29	H30	R1	R2
年間運行回数(回) (a)	384	102	102	98
年間利用者数(人) (b)	261	178	278	257
平均利用者数(人) (b/a)	0.7	1.7	2.7	2.6
国庫補助額(千円)	0	0	0	0
市町補助額(委託額)(千円)	994	256	259	279

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	福井鉄道福武線
②利用の状況	冬季期間(12月～2月)のみの運行となっており、主に吉川地区の通勤・通学の足として利用されている。
③当該路線の必要性	朝夕の通学時間帯に主要鉄道駅である福井鉄道神明駅と各地区主要箇所を連絡することによって、通学の利便性を改善する必要がある。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
鯖浦線	福鉄バス	神明駅

5. 生産性向上に関する取組み

R2年度に実施した取組みおよびその結果・効果	本市のコミュニティバスは平成29年4月から大きくダイヤ見直し等を行ってきたが、それ以降は定着を図る目的でほぼダイヤを据え置いて運行してきたところである。広報については、各地区の高齢者サロンに出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を実施し、利用促進に努めたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、当初予定していた講座数を行うことは出来なかった。開催した講座では要望を聞き出す時間を設けることで、各地区の問題点の収集に努めた。(当初予定数：10回、実績：2回) また、Google map を使用して経路検索を行えることを市のHPを活用し、周知をした。
今後の取組みの予定、目標	令和3年度末までを計画期間とする鯖江市地域公共交通再編実施計画の終了を見据え、市民生活の日常の移動手段の確保にシフトした路線の再編やダイヤ改正を、これまでの利用実績の研究や地域の意見を参考にした上で、実施していく。 また、引き続き利用者の大多数を占める高齢者に焦点を絞り、各地区の高齢者サロンに出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を開催し、新規の利用者の獲得を目指す。その他、約10年前に導入を行った「※バスどこサービス」について、改めて市のHP等を利用させていただくように努める。 ※鯖江市つつじバスが現在どこを走っているかがリアルタイムで分かるようになっているもの。GTFSを活用しGoogle mapを使った現在走行位置の把握が可能。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
鯖江市		通学便 豊ルート	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
冬島	豊公民館	JR鯖江駅	10.95
運賃体系		1回乗車あたり100円(小学生以下および障がいのある方は人等は無料)	

2. 当該路線に係る指標

年度	H29	H30	R1	R2
年間運行回数(回) (a)	384	102	102	98
年間利用者数(人) (b)	242	144	35	24
平均利用者数(人) (b/a)	0.6	1.4	0.3	0.2
国庫補助額(千円)	0	0	0	0
市町補助額(委託額)(千円)	1,166	309	308	333

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	福井鉄道福武線 JR北陸本線
②利用の状況	冬季期間(12月～2月)のみの運行となっており、主に豊地区の通勤・通学の足として利用されている。
③当該路線の必要性	朝夕の通学時間帯に主要鉄道駅であるJR鯖江駅、福井鉄道西鯖江駅と各地区主要箇所を連絡することによって、通学の利便性を改善する必要がある。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所

5. 生産性向上に関する取組み

R2年度に実施した取組みおよびその結果・効果	本市のコミュニティバスは平成29年4月から大きくダイヤ見直し等を行ってきたが、それ以降は定着を図る目的でほぼダイヤを据え置いて運行してきたところである。広報については、各地区の高齢者サロンに出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を実施し、利用促進に努めたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、当初予定していた講座数を行うことは出来なかった。開催した講座では要望を聞き出す時間を設けることで、各地区の問題点の収集に努めた。(当初予定数：10回、実績：2回) また、Google map を使用して経路検索を行えることを市のHPを活用し、周知をした。
今後の取組みの予定、目標	令和3年度末までを計画期間とする鯖江市地域公共交通再編実施計画の終了を見据え、市民生活の日常の移動手段の確保にシフトした路線の再編やダイヤ改正を、これまでの利用実績の研究や地域の意見を参考にした上で、実施していく。 また、引き続き利用者の大多数を占める高齢者に焦点を絞り、各地区の高齢者サロンに出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を開催し、新規の利用者の獲得を目指す。その他、約10年前に導入を行った「※バスどこサービス」について、改めて市のHP等を利用させていただくように努める。 ※鯖江市つつじバスが現在どこを走っているかがリアルタイムで分かるようになっているもの。GTFSを活用しGoogle mapを使った現在走行位置の把握が可能。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
鯖江市		通学便 中河・北中山ルート	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
上戸口北	北中山公民館	JR鯖江駅	13.75
運賃体系		1回乗車あたり100円(小学生以下および障がいのある方は人等は無料)	

2. 当該路線に係る指標

年度	H29	H30	R1	R2
年間運行回数(回) (a)	384	102	102	98
年間利用者数(人) (b)	136	13	6	32
平均利用者数(人) (b/a)	0.4	0.1	0.1	0.3
国庫補助額(千円)	0	195	0	0
市町補助額(委託額)(千円)	1,355	346	348	382

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	JR北陸本線
②利用の状況	冬季期間(12月～2月)のみの運行となっており、主に中河・北中山地区の通勤・通学の足として利用されている。
③当該路線の必要性	朝夕の通学時間帯に主要鉄道駅であるJR鯖江駅と各地区主要箇所を連絡することによって、通学の利便性を改善する必要がある。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所

5. 生産性向上に関する取組み

R2年度に実施した取組みおよびその結果・効果	本市のコミュニティバスは平成29年4月から大きくダイヤ見直し等を行ってきたが、それ以降は定着を図る目的でほぼダイヤを据え置いて運行してきたところである。広報については、各地区の高齢者サロンに出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を実施し、利用促進に努めたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、当初予定していた講座数を行うことは出来なかった。開催した講座では要望を聞き出す時間を設けることで、各地区の問題点の収集に努めた。(当初予定数：10回、実績：2回) また、Google map を使用して経路検索を行えることを市のHPを活用し、周知をした。
今後の取組みの予定、目標	令和3年度末までを計画期間とする鯖江市地域公共交通再編実施計画の終了を見据え、市民生活の日常の移動手段の確保にシフトした路線の再編やダイヤ改正を、これまでの利用実績の研究や地域の意見を参考にした上で、実施していく。 また、引き続き利用者の大多数を占める高齢者に焦点を絞り、各地区の高齢者サロンに出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を開催し、新規の利用者の獲得を目指す。その他、約10年前に導入を行った「※バスどこサービス」について、改めて市のHP等を利用させていただくように努める。 ※鯖江市つつじバスが現在どこを走っているかがリアルタイムで分かるようになっているもの。GTFSを活用しGoogle mapを使った現在走行位置の把握が可能。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
鯖江市		通学便 河和田ルート	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
鈺泉前	JR鯖江駅	禰陽会館	14.05
運賃体系		1回乗車あたり100円(小学生以下および障がいのある方は人等は無料)	

2. 当該路線に係る指標

年度	H29	H30	R1	R2
年間運行回数(回) (a)	384	400	400	284
年間利用者数(人) (b)	1,296	1,431	1,671	1,871
平均利用者数(人) (b/a)	3.4	3.6	4.2	6.6
国庫補助額(千円)	207	423	0	0
市町補助額(委託額)(千円)	1,385	1,388	1,393	1,130

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	福井鉄道福武線 JR北陸本線
②利用の状況	通年の運行となっており、主に河和田地区の通勤・通学の足として利用されている。
③当該路線の必要性	朝夕の通学時間帯に主要鉄道駅であるJR鯖江駅と各地区主要箇所を連絡することによって、通学の利便性を改善する必要がある。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所

5. 生産性向上に関する取組み

R2年度に実施した取組みおよびその結果・効果	本市のコミュニティバスは平成29年4月から大きくダイヤ見直し等を行ってきたが、それ以降は定着を図る目的でほぼダイヤを据え置いて運行してきたところである。広報については、各地区の高齢者サロンに出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を実施し、利用促進に努めたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、当初予定していた講座数を行うことは出来なかった。開催した講座では要望を聞き出す時間を設けることで、各地区の問題点の収集に努めた。(当初予定数：10回、実績：2回) また、Google map を使用して経路検索を行えることを市のHPを活用し、周知をした。
今後の取組みの予定、目標	令和3年度末までを計画期間とする鯖江市地域公共交通再編実施計画の終了を見据え、市民生活の日常の移動手段の確保にシフトした路線の再編やダイヤ改正を、これまでの利用実績の研究や地域の意見を参考にした上で、実施していく。 また、引き続き利用者の大多数を占める高齢者に焦点を絞り、各地区の高齢者サロンに出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を開催し、新規の利用者の獲得を目指す。その他、約10年前に導入を行った「※バスどこサービス」について、改めて市のHP等を利用させていただくように努める。 ※鯖江市つつじバスが現在どこを走っているかがリアルタイムで分かるようになっているもの。GTFSを活用しGoogle mapを使った現在走行位置の把握が可能。